

健康経営宣言・推進体制

エブリでは健康経営宣言及び健康経営に向けた推進体制を設け、社員が健康で働ける企業であるよう、組織体制や制度・施策を実施しています。

エブリ健康経営宣言

エブリでは健康経営の推進に取り組むことを宣言します。

健康経営推進基本方針

社員一人ひとりが心身ともに健康で持てる能力を最大限に発揮できるよう、安全かつ適正な職場環境の整備や制度の構築に努めます。

健康リテラシーの向上のための啓蒙・教育や健康管理を充実させるとともに、各種健康維持増進施策の実践を通じ、社員の主体的・自律的な健康づくりを積極的に支援します。

健康経営の取り組みを通じ、メンバーの力を結集して、最大の成果を生み出すことに努めます。

健康経営で解決したい経営上の課題

社員のウェルビーイング（社員幸福度）の促進

- ・社員が「働きがい」を感じるしくみと職場環境づくり
- ・社員の豊かな生活を守る「働き方改革」の推進
- ・社員の心と身体を守る「健康経営」の取り組み

具体的な取り組み

- ・健康経営の浸透と、社員の健康意識向上
 - ・定期健診受診率 100%維持継続
 - ・ストレスチェック受診率 100%維持継続
 - ・ストレスやメンタルヘルスに対する正しい理解の浸透
 - ・有給休暇取得の促進
 - ・勤務時間の適正化
 - ・多様な働き方に対応する勤務体制
 - ・禁煙の推進
- 時代の変化にともない、柔軟に取り組めます。

取り組みによる成果例

- ・禁煙時間の設定・喫煙場所の制限など、喫煙率低下に向けた取り組みを行ったところ、喫煙率が低下しました。（2017年 33.9%→2021年 31.2%）
- ・有給休暇取得促進日の設定により、一人当たりの年間有給休暇取得平均日数が増加しました。（2020年 9.6日→2022年 11.0日）

健康経営を推進する社内体制

代表取締役社長が「健康経営責任者」、総務担当役員が「健康経営推進責任者」となり、健康経営を牽引していきます。また、推進にあたっては、「総務部」「経営会議」「各部門長」など組織横断的に役割分担し、施策を検討・実施していきます。